

10月6日(月)

自尊心の落とし穴

聖書朗読 マルコ 9:30~37

「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、十字架を負い、そしてわたしについて来なさい。」
マタイ 16:24

以前、キリストにある大切な姉妹に、「ディック、皆さんに注目してもらえるように、もう少し目立った方がよろしいのではないですか？」とアドバイス頂いたことがあります。彼女は、私に、もっと教会の重要な担い手となって欲しいという思いがあったかと思えます。しかし私は、『だれでも自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は高くされます。』(ルカ14:11)と答えました。

自尊心はサタンの罠です。私たちの大半はそこに陥っています。私たちは尊敬され称賛されたいのです。私たちは、価値あるものと思いたいのです。弟子たちが、だれが一番偉いかを論じ合っていた時に、イエス様は、『だれでも人の先に立ちたいと思うなら、みなのがりとなり、みなに仕えるものとなりなさい。』(マルコ9:35)と諭されました。

神様の目には、自尊心に浸った雄弁な伝道者よりも、兄弟姉妹に絶えず奉仕する貧しく、控えめな未亡人の方が貴いのです。イエス様は、自ら謙遜の生き様を示されました。『ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられました。人としての性質をもって現れ、自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われました。それゆえ神は、この方を高く上げて、すべての名にまさる名をお与えになりました。』(ピリピ2:7~9) ご自分を卑しくされたイエス様は、私たちの栄えある主とされたのです。イエス様の歩んだ道を覚えて私たちが付き従いましょう。

讃美歌 121

祈り 天地万物の造り主にして全てを治めたもう、全能の父なる神様、あなたの御前に謹んでこうべを垂れます。私たちの罪の贖いとしてイエス様をお送り下さいましたこと感謝申し上げます。イエス様が自らを低くされ、この地上で、私たちの罪の贖いとして死んで下さり、私たちが王の中の王の子としての地位に上げて下さいました幸いに感謝申し上げます。

イエス様の尊い御名によってお祈りいたします。アーメン。

ディック・エディ

オレゴン州 グレシャム

今日の方

2014年10月6日~10月12日

翻訳 小出友紀

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

10月7日(火)

勝利がもたらす誘惑

聖書朗読 マルコ 11:1~11

私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情できない方ではありません。罪は犯されませんでした。すべての点で、私たちと同じように、試みに会われたのです。

ヘブル 4:15

歓呼に迎え入れられたエルサレム入城という、イエス様の人生の大きな転機において、御父のご意志を成し遂げようとするイエス様の決意が揺らいだなどというような記述はマルコの福音書にはありません。しかし、ヘブル人への手紙の記述は、私たちの大半が一時の名声の心地よさの中で味わうのと同じように、人気の絶頂にあつて、イエス様もまた、試みにあわれたのだということを信じさせるに至るのです。

この場面の数日前に、『イエスは、エルサレムに行こうとして御顔をまっすぐ向けられた』(ルカ9:51)という出来事がありました。イエス様は、まさにこの入城の場面で、そのご決意が激しく試されるであろうことを予め予期されていたのだと思います。なぜイエス様は、民衆が望む地上の王としてお立ちになることに同意されなかったのでしょうか？なぜイエス様は、十字架への道を拒絶されなかったのでしょうか？

答えは単純です。私やあなたのためなのです。もしイエス様が安易な道を選ばれていたら、私たちは自らの罪にまみれて生き、罪のうちに死んでいたでしょう。『わたしが来たのは、羊がいのちを得、またそれを豊かに持つためです。』(ヨハネ10:10)。そのご意志が、イエス様の心のうちにある一切の思いを流し去ったのです。

試みに打ち克ち、勝利されたイエス様に感謝申し上げます。

讃美歌 461

祈り 愛する神様。私たちは、時として、人間のうちにあつて賞賛を得る機会があります。どうか私たちがイエス様のように、使命を放棄することなく、誘惑に打ち克つことができますように。

私たちの主であり救い主たるイエス様の御名によってお祈りいたします。
アーメン。

カイ・バーナム・エバンス
テキサス州 ラボック

10月8日(水)

後悔

聖書朗読 マルコ 14:32~42

どうか、平和の神が、あなたがたすべてとともにいてくださいますように。アーメン。
ローマ 15:33

若かりし頃、私は後悔というものを信じませんでした。遠い過去に違った選択をしていたらと思いを馳せることは、前向きなエネルギーを浪費してしまうことのように思えたのです。私も年老いた今、やり直したいと願い求めることの意味を理解できるようになりました。しかしもし、私たちを最上の祝福へと導く事柄が起こらなかつたらどうなつたでしょうか？もし、欧州歴史学のクラスで、革靴を履いた魅力的な青年が私の隣に座り、私にイタリア語で話しかけて、私に恋させることが起こらなかつたらどうなつたでしょうか？彼は数十年間、私の夫なのです。

私たちが自身の選択と結果に責任があるのは明白ですが、そういった人生の局面の大半において、私たちには発言権はないということも等しく明確なのです。私は、私の作為であろうがなかろうが、起こつた人生の個々の局面に対して、どのように相対して私自身が発言したのかということをししばしば思い出すのです。しかし、神様はお約束に忠実なお方で、「もし〜だったら」と後悔し混乱する力に打ち克つことができるように、私たちを助けて下さるのです。

人の姿をされた神様であるイエス様は、私たちが推し量ることのできない方法で戦われたのです。のみならず、イエス様は、御父を信頼し、「もし〜だったら」、「〜であれば良かったのに」、といった後悔はされなかつたのです。私もイエス様に倣えるようにと祈ります。

讃美歌 312

祈り 父なる神様。私が受ける祝福を覚え、私の人生を織り成す色、模様、重なりとあなたが否とされたもの良しとされものの全てに感謝申し上げます。私が人生のうちに未だ見ぬ祝福に導かれるよう、あなたが今こうして用いて下さる導きに感謝申し上げます。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

ペギー・パウナル

カリフォルニア州 サウザンドオークス

10月9日(木)

唯一の聴衆

聖書朗読 ルカ 4:22~30

そのためには、主に喜ばれることが何であるかを見分けなさい。

エペソ 5:10

イエス様は人間というのをよくご存知でした。私たちの創造主であるがゆえに、私たちの考えや行いの動機といった、人間の本質をよくご理解されていました。イエス様は、人間は、一時は褒めて、次にはイエス様を崖から投げ落とそうとすることをご存じでした。人間の意思が変わりやすいことをご存じでした。

ですから、『イエスは、ご自身を彼らにお任せにならなかった。なぜなら、イエスはすべての人を知っておられたからである。』(ヨハネ2:24~25)とヨハネは述べています。イエス様は、教師として民衆を喜ばせることはなさりませんでした。イエス様の全ての言葉と行い、その唯一の目的は、御父に喜んで頂くことにあったのです(ヨハネ8:23~29)。

私たちはどうでしょうか？ 私たちの家族、社会、そして教会の中で、私たち日々、何かしらの選択をしています。私たちは、人間か神様かどちらに喜んで頂こうと努力しているのでしょうか？ 以前、私の友人は、「人間の全ての行いは、唯一の聴衆のためになされるべきだ」と言ったことがあります。御父のお考えだけが重要なのです。もし、私たちが御父を喜ばせることを選択すれば、他の誰かの喜びとは関係なく、私たちは良きもの正しきものとして選ばれるのです。

今日、主に喜んで頂けることを見つけて、付き従い、それを行って行きましょう。

讚美歌 338

祈り 愛する神様。今日も私たちは人生の道を歩んでおりますが、どうか、主に付き従い、ただ主に喜んで頂ける道を求めることができますようにお助け下さい。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

ジャン・ノックス

テキサス州 グランバリー

10月10日(金)

ブルーボネットが咲いた！

聖書朗読 ルカ 12:17~34

しかし、きょうは野にあって、あすは畑に投げ込まれる草をさえ、神はこのように装ってくださるのです。ましてあなたがたには、どんなによくしてくださることでしょ。ああ、信仰の薄い人たち。
ルカ 12:28

私の住んでいる所では、ブルーボネットとキンポウゲが咲き始めています。イエス様は野のゆりのことを話されました。私たちの作為のない、神様が造りたもう創造物を目の前にすることはとても素晴らしいですね。色一色の青が、野原いっぱい何マイルも何マイルも広がっている景色を見渡すことができるのです。

この美しい花一面の景色は、神様が、神様の民である人間に与えたもう創造物とそのご配慮を心のうちに覚える助けとなります。神様のご配慮は私たちに富ではなく安息を与えて下さいます。神様のご意志があるところ、私たちのうちにそして周囲にある神様の王国について、さらなる思いを巡らせることができるのです。

花の美しさは、権力者の飾った贅沢な庭、食べ物、衣服そして宝石とは比べものにならないほどの素晴らしさなのです。神様は、私たちへの素晴らしい愛とご配慮をもって臨んで下さいます。私たちが神様の御業に目を留めさえすれば、私たちはそのことに気付くことができるでしょう。

ですから、私たちは衣服や食べ物のご心配することをやめて、野のゆりを造られた唯一の神様により頼んでまいりましょう。

讚美歌 168

祈り イエス様。私が見るもの全てにあるあなたの愛に、そして私のうちにある聖霊の慰めに感謝申し上げます。主の情け深いご配慮に感謝申し上げます。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

ジーン・ガン

テキサス州 ネダーランド

10月11日(土)

木へと成長する

聖書朗読 ルカ 13:18~21

天が地よりも高いように、わたしの道は、あなたがたの道よりも高く、わたしの思いは、あなたがたの思いよりも高い。
イザヤ 55:9

私たちは、始まりがたいしたことがないように思えたとしても、その計画の将来を決して断定してはいけません。イエス様はその地上での人生において、ユダヤ人社会の外で辛うじて知られている程度でした。主要な歴史学者は、イエス様に対して、雑な出典しか記載しません。イエス様の12人の使徒は、「無教養で無学な男たち」とみなされていました。彼らはローマ帝国にとっては何ら脅威ではありませんでした。客観的な観察者がいたなら、この静かなナザレ人の活動の速やかな終焉を予想したかもしれません。

しかしイエス様は、普通の活動をした単なる人間のリーダーではないのです。イエス様は、御国のメッセージの本質的な力をご存知でした。手のひらで消え去るかもしれないほどの小さな種から巨大な木へと成長するように、王国は最後には多くの人々のための家となり守りとなるのです。義に飢え乾いている人々に対して訴える、ぼんやりとした始まりから成長する世界規模の活動を見るために、イエス様を心の中に覚えましょう。

アメリカン・キャン会社の設立時の逸話を読んだことがあります。狭くてちっぽけな会社の名前にしては大げさすぎると社員はいぶかしみましたが、社長は、「問題ないよ。偉大な名前を名乗って、そうなるように成長しようじゃないか!」と答えたそうです。

讚美歌 第二編 195

祈り 聖なる父なる神様。イエス様をご覧になるものを見ることができますように私たちの目を開いて下さい。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

ロバート・W・ローレンス
ネブラスカ州 ヨーク

10月12日(日)

低くて高いザアカイ

聖書朗読 ルカ 19:1~10

人の子は、失われた人を捜して救うために来たのです。 ルカ 19:10

ザアカイは、「ちっぽけな小さな男性」と記されますが、この世の権力においては、ザアカイは低くはありませんでした。取税人のかしらであり、金持ちでした。

イエス様を知ることにおいてザアカイは低き者でしたが、イエス様を見たいという思いを抑えきれませんでした。彼は、イエス様が通られる場所にある木に登りました。イエス様はザアカイをおみとめになると、「ザアカイ。急いで降りて来なさい。きょうは、あなたの家に泊まることにしてあるから」とお命じになりました。権力に属するザアカイは、イエス様の権威を即座に認めたのです。

ザアカイは、評判において低き者でした。皆は、「あの方は罪人のところに行って客となられた」と不満を言いました。ザアカイがイエス様と歩いている時に、おそらく、周囲の不満の声が彼の耳にも聞こえていたのでしょう。ですから、彼は、「主よ。ご覧ください。私の財産の半分を貧しい人たちに施します。また、だれからでも、私がだまし取った物は、四倍にして返します」との声明を行ったのです。

良心の呵責がザアカイを高く立つ者としたのです。イエス様は、「きょう、救いがこの家に来ました。この人もアブラハムの子なのですから」とお答えになりました。多くのユダヤ人が生物学的に「アブラハムの子」であることに自惚れています。しかしイエス様は、付き従う謙虚な信仰をお求めになっていたのです。イエス様の御言葉を私たちにも当てはめましょう、「あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい」(ルカ7:50)。

讚美歌 280

祈り 信じます父なる神様、私たちの不信仰をどうか信仰へと変えて下さい。あなたの御恵みに感謝申し上げます。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

ハロルド・シモンズ
テネシー州 スミルナ